



お茶を飲みながら、
ぎのわんの歴史を
のぞいてみませんか？



女性たちの楽しみ「サングワチャー」

3月3日は雛祭りでした。今では、主に女の子の健やかな成長を願う行事となつていますが、昔は少し違っていたことをご存知でしょうか？

かつての沖繩では、「サングワチャー」などの名称で旧暦3月3日に女性が浜辺で厄払いをする「浜下り」をしていた、というお話を聞きます。この話の由来は、美男に化けたアカマターが年頃の娘を身籠らせてしまうが、その正体がアカマターだと分かると潮水に浸かってアカマターの種を洗い流し、浄められた、ということから穢れを払うために浜下りをす



▲衣装を揃えて踊る我如古のサングワチャー



▲思い思いの衣装で踊る
宇宜野湾のサングワチャー

るようになったというものでした。しかし、宜野湾の多くの地域では違つていたようです。アカマター伝説と関わる由来が伝承されていたのは、宇地泊、伊佐浜、志真志のみでした。この3地域以外では、主に未婚の女性たちが日頃の忙しさから解放され、皆でご馳走を食べ、歌や踊りで楽しく過ごし、氣力を回復させる行事として意識されていたようで、集落内の大きな屋敷や野原などに集まって宴を催したりしていました。

現在では、伝統的なサングワチャーを行う集落が少ない中で、我如古と宇宜野湾では今でも、円を描いて踊る「スンスामी」を中心に行っています。スンスामीは、農村地域での豊作や子孫繁栄を祈る踊りとして継承され、そこに女性たちの健康も併せて願うなど、地域の人々の思いが込められた年中行事であることが感じられます。

【問い合わせ】
市立博物館 ☎870-9317



宜野湾市のアイデンティティが詰まった「宜野湾市史」

**展示だけじゃない！
博物館のおしごと！**
皆さん、「博物館のおしごと」と聞いて何をイメージしますか？おそらく、多くの方は展示を行ったり、昔の道具などを収集したりすることを思い浮かべるのではないのでしょうか。実は、市立博物館では展示や資料の収集・保管などの他に、「市史の編集」も行っているんです。

市史の編集ってどんなこと？

宜野湾市の歴史や文化、自然について調べ、「宜野湾市史」という本にまとめて



います。
宜野湾市の市史編集事業は、1979（昭和54）年にスタートしました。翌年1980（昭和55）年の『宜野湾市史』第2巻資料編1・新聞集成Iを皮切りに、第7巻まで刊行した後、それまでに集めた資料や証言をもとに、第1巻通史編を刊行しました。通史編は全巻を出した後、最後の集大成として刊行されることが多いのですが、宜野湾市では通史編の刊行後も継続して市史の編集に取り組み、現在までに合計29冊（CD・DVD1枚含む）を刊行しています。そして、現在は市史別冊教育編の編集に取り組んでいます。

こんな時こそ、市史の出番！
宜野湾市の歴史・文化・自然について知りたい時や、「字誌」を作りたい時、また、イラストや写真を多く使用した「ビジュアル版」は、学校の授業でも使いやすい内容となっていますので、是非ご利用ください！



博物館と市民会館の文化課で購入できるよ！図書館にもあるので、是非手に取ってみてね！



詳細はコチラ▶

※非売品や、在庫のない巻もあります。

<企画展のご案内>

- ◆基地に消えたムラ「安仁屋」
日 程 2月1日(水)～3月19日(日)
- ◆比嘉美津子絵画展－羽衣に誘われて(2)－
日 程 3月25日(土)～4月9日(日)
- 休 館 日 毎週火曜日・祝日
- 場 所 市立博物館 企画展示室
- 入 場 無料
- 問い合わせ 市立博物館 ☎870-9317